

# サーボ型速度計システム

## VSE-355G3 / CV-570

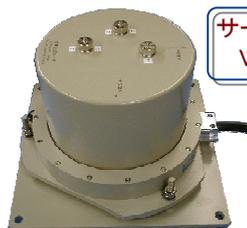
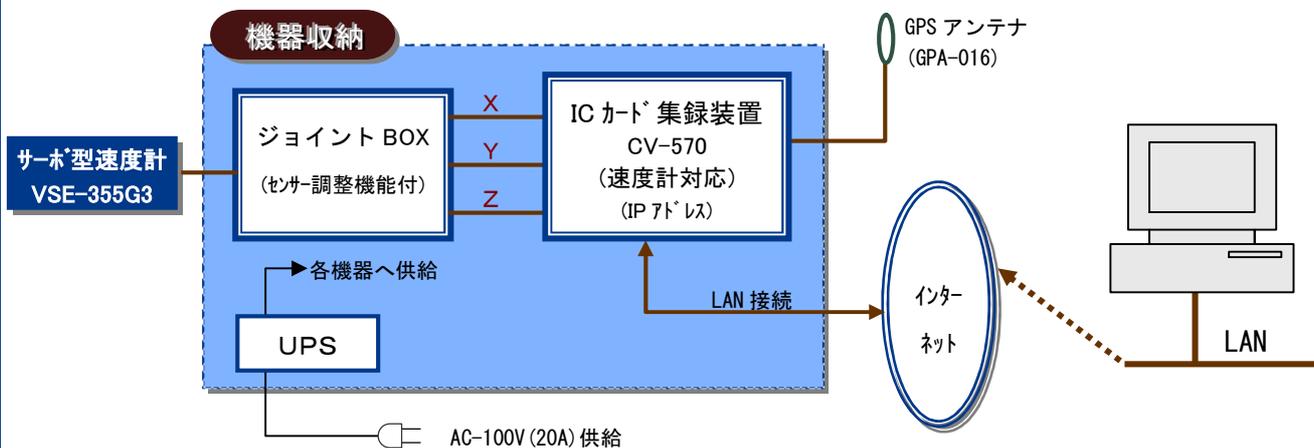
**株式会社 東京測振**

〒123-0783 東京都足立区扇 3-14-34

TEL 03-3855-5911 FAX 03-3855-5921

URL <http://www.to-soku.co.jp>

### 強震まで計測できる！！



サーボ型速度計  
VSE-355G3



ICカード集録装置  
CV-570

#### 概要

24bitAD変換器と汎用ATA規格PCカードを用いた強震計型のデータ集録装置である。地震起動判断（レベル判断、プレ／ポスト収録）、高精度水晶発信器とGPS修正方式による時計機能、停電補償用UPSを装備し、また通信系ではTCP/IPプロトコルによるEthernet通信と、汎用ATでも対応のシリアル・インターフェースを装備している。

#### 特長

- ① 内部部品の大幅な集積化と小型大容量バッテリーにより、従来の同等強震計に比較し、ケースサイズの大幅なコンパクト化。
- ② 24bit AD変換器による高ダイナミック記録。
- ③ 記録媒体は汎用的なPCMCIA ATA規格のPCカードを採用し、保存書式をMS-DOS形式とする事でパーソナル・コンピュータ（以下PC）との高いハンドリング性を実現。
- ④ PCカード・ソケットは最大2Gバイト、約1900ファイルまでのPCカードをサポートし、将来的なメディアの大容量化にも対応。
- ⑤ PCカード内の記録ファイルが満杯時の記録保存は、最大振幅の記録を優先保存する（当社特許）他に、最長時間記録、最新日時記録及び最古日時記録優先の4つの方法から選択可能。
- ⑥ 時計修正用のGPS受信機と高精度水晶発信器により、高精度時計を実現。
- ⑦ オプション選択のEthernet通信用インターフェース（10Base-T）は一般的なTCP/IPプロトコルを採用し、従来のシリアル・インターフェース以上の高速通信とネットワーク環境下での利便性の向上を果たしている。
- ⑧ シリアル・インターフェース（RS-232C）はATコマンドによる通信機能を備え、汎用的なATモデムやターミナル・アダプタを用いた遠隔通信による観測が可能である。
- ⑨ 記録収集における起動方式は、入力レベル判断による自動起動の他に、常時微動観測などの用途として、タイムスケジュールによる起動も可能である。

## 仕様

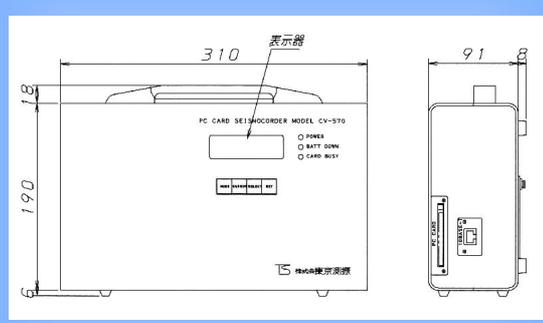
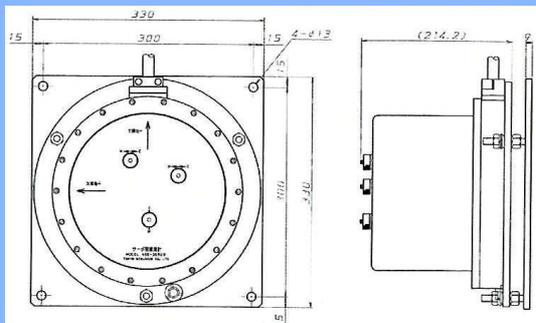
### 3成分サーボ型速度計 VSE-355G3

型式	VSE-355G3(地上型)	消費電流	約 150mA
形状	地上設置型	横感度	0.5%
測定周波数範囲	0.008~70Hz	感度温度係数	0.01%/°C
測定成分	水平×2、上下×1	零点変動の温度係数	0.05%/°C
最大測定範囲	±2m/s(±20m/s <sup>2</sup> の範囲内) (±200kine(±2000Galの範囲内))	アレスター	定格電圧 30V, 衝撃波電流耐量 5KV, 100A
感度	10V/m/s(5Vm/s×2) (100mV/kine(50mV/kine×2))	使用温度範囲	-30°C~70°C
最大出力電圧	±20V(平衡出力において)	接続ケーブル	ビニールシース 20 芯ケーブル
直線性	フルスケールの 0.03%	許容最大加速度	30G(0.1Sec 以内)
分解能	約 1mA/m/s <sup>2</sup> (約 10 μGal)	外形寸法	地上型 φ383×230
検定コイル	・感度: 15 μA/Gal ・コイル抵抗: 500 Ω(±20%)	完全気密構造	耐水圧 1kg/cm <sup>2</sup> (地上型)
供給電圧	±15VDC		

### IC カード集録装置 CV-570

入力部	成分数	水平2成分+上下1成分、計3成分		時計部	時計精度	1ppm		
	AD変換器	24bit			時刻修正	GPS受信方式(起動中は修正動作禁止)		
	ゲインミッティング	120dB			構成	1秒毎(GPSの1秒パルス信号による)		
	AD変換タイミング	内蔵時計に同期			タイミング			
記録部	記録媒体	PCカード ATA仕様 Flash Type II(最大2Gbyte)		外部インターフェース	RS-232C	通信規格	9.6k 又は 38.4kbps/8bit / Non-parity/1-Stop-bit/ ソフトウェアフロー制御	
	記録時間	約 12 時間(100Hz サンプリング、40Mbyte カードにて)				接続機種	PC 又は AT モデル	
	記録内容	ヘッダ部	起動日時、装置機番、ファイル・サイズ、ヘッダ・サイズ、チャンネル数、データ・サンプル数、データ長、AD変換ビット数、サンプリング間隔、時刻修正日時、装置リセット日時、電源電圧、内部温度、起動前平均、AD値、記録内最大値		機能	装置状態要求/設定、記録ファイルの確認/転送/消去、内蔵時の設定/確認、手動起動命令、校正信号発生命令、装置リセット		
		波形データ部	1eventあたり3byte (2の補数表記)×3成分		通信のセキュリティ	パスワード照合方式		
記録保存	以下の4条件より設定		イーサネット	通信規格	10Base-T			
	・最大記録優先			プロトコル	TCP/IP			
	・最新記録優先			機能	RS-232C 機能に準ずる			
	・最古記録優先(記録満杯で保存動作停止)			外部同期	通信規格	TTLレベル、オープンコレクタ、負論理入出力		
	・最長記録優先				機能	起動連動、分時刻修正連動		

## 外形寸法



製品改良のため、仕様および外観を予告なく変更する場合があります。